

令和2年度第2回さぬき市少年育成センター運営委員会（第1回は中止）
会議要旨（要約）

- 1 日 時 令和3年2月19日（金） 13:30～15:00
- 2 場 所 さぬき市教育委員会2階 203会議室
- 3 出席者〔委員〕 土佐清二 藤田 学 福嶋信介 頼富 勉
森安啓子 濱崎典子 國方三千代 白井邦佳
〔事務局〕 中野教育部長 富田学校教育課長 松岡育成センター所長
藤本専門相談員 那須専門相談員 谷本専門補導員
〔傍聴〕 0名
- 4 議 題
 - (1) 令和2年度事業報告について
 - (2) その他
- 5 会議の内容は、次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>ただ今から令和2年度第2回さぬき市少年育成センター運営委員会を開会します。開会にあたりまして、本日の会議の出席状況を御報告させていただきます。本日の会議の出席者は8名、欠席者は6名です。</p> <p>欠席者6名から委任状の提出があります。さぬき市少年育成センター条例施行規則第6条第2項の規定に基づき、過半数の委員の出席があり、会議が成立することを御報告します。</p> <p>あわせて、平成16年度から施行されました附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針に基づき、本会議は公開となっております。</p> <p>会議の公開・傍聴の受付を行いました。本日の会議の傍聴者はいないことを御報告いたします。</p> <p>それでは、本日の会の招集者であります運営委員長より御挨拶申し上げます。</p>
(委員長)	<p>(挨拶)</p> <p>コロナ禍で少年育成センターの活動も多くが中止となりましたが、今後の活動をどうしていくべきか、皆さんから御意見をいただきたいと思っております。</p>
(事務局)	<p>続きまして、さぬき市教育委員会、中野教育部長より御挨拶を申し上げます。</p>
(教育部長)	<p>(挨拶)</p>

	<p>本年度はコロナウィルス感染拡大防止のため、年度当初から小・中学校が臨時休業となり、例年とは違った運営となりました。しかし、近年の少子化、核家族化、情報化などにより、子どもたちを取り巻く社会環境が急激に変化しており、少年犯罪の低年齢化やいじめ、不登校、引きこもり、児童虐待、SNS を利用した犯罪被害など、子どもに関わる様々な犯罪が例年どおり発生しております。さぬき市少年育成センターとしては以上のような現状を踏まえて、家庭、学校、地域、関係団体との連携、協力を基に、連携、協働、交流の三業務を通して、少年を取り巻く様々な問題に全力で取り組み、教育環境の浄化を図っていかねばなりません。また運営にあたっては、子どもの福祉と人権尊重の精神に基づき、社会のルールを守る、他人を思いやるなど、豊かな心を育てるため、また少年犯罪の未然防止につなげるため、連携を一層強め、この後御報告する令和2年度の事業報告の成果と課題を再度検証し、運営方針に沿った活動を積極的に推進してまいりたいと考えております。今後とも、さぬき市少年育成センターへの御協力と御支援をお願いいたします。</p>
(事務局)	<p>さぬき警察署生活安全課課長より「市内児童・生徒の現状について」の講話をお願いします。</p>
(さぬき署)	<p>(講話)</p> <p>令和2年のさぬき署管内の非行件数は非常に落ち着いている。</p> <p>昭和39年ごろに比べると、少年犯罪の件数は10分の1に減っているが、逆に児童虐待や、SNS の被害が増えてきている。さぬき市内でもスマホ・SNS を使った犯罪が起きている。このように、少年を取り巻く犯罪は変化してきている。</p> <p>今後とも、皆さんの御協力で少年の非行防止、健全育成をよろしく願います。</p>
(事務局)	<p>では、議長の運営委員長に以降の進行をお願いします。</p>
(議長)	<p>それでは、これより議題に移ります。議題について、順次事務局より説明をお願いします。</p>
	<p>議題</p>
(事務局)	<p>(1) 令和2年度事業報告</p>
	<p>活動計画の概要と実施状況・・・少年補導、少年相談、適応指導、地域連携、環境浄化、広報啓発、研究・研修、運営に関する審議会</p>
(議長)	<p>ただいま事務局から議題(1)について項目ごとに説明がありましたが、このことについて、質問等ありましたらお願いします。</p> <p>また、今年度はコロナ禍でたくさんの行事が中止となりましたが、来年度の活動をどういう形で実施していけばよいか御意見をいただきたいと思</p>

	います。
(委員)	市内の人口減少に伴い空き家が増えているが、空き家における犯罪は起きていないか。
(委員)	青少年が関わっている犯罪は起きていないが、市内でも空き家への侵入被害は増えている。
(委員)	最近の子どもたちはオンラインでゲームをしているので、保護者からは「子どもが誰とゲームをしているのか分からなくて不安だ。」という声が聞かれる。こういう状況で子どもたちが犯罪に巻き込まれないために、何をどのように伝えていけばいいのか。 コロナ禍で例年のような活動はできないかもしれないが、前向きに別のやり方を考えなくてはいけない。時間の短縮、広い会場への変更等、工夫をしながら情報交換の会を実施する等してはどうか。
(議長)	リモートでの会を実施することが難しければ、書面で実施する等工夫してはどうか。来年度は、この1年間学んできたことを生かして活動していければと思う。
(事務局)	補導員会等については、広い会場で行うようにしたい。 コロナ禍の中でも、子どもたちは学校へ通っているので、せめて屋外での見守りや補導活動については実施していきたい。 さぬき市少年育成センターでは、特色のある活動として、小・中・高校生の一泊補導員の活動を行っている。小・中・高校生の皆さんに協力していただき、万引き防止等のキャンペーンを行っているのだが、子どもたちが呼びかけをすることで、たくさんの人の耳に届くし、地域の皆さんからもたいへん好評である。今後も感染拡大防止の工夫をしながら、ぜひ続けていきたい。
(委員)	SNSによる目に見えない犯罪が増えている。そのことによって心に傷を受ける子どもが増えるのではないか。大人はどう対処していけばいいのか。
(委員)	子どもたちがSNSによる被害に遭わないように、インターネットの危険性を伝えていかなければならない。現在、高校ではSNSの被害防止についての講話をしているが、小・中学生にも注意喚起を行っていきたい。
(委員)	挨拶運動等を通して、子どもたちが地元の人たちと顔見知りになる機会を作っていきたい。挨拶をきっかけに顔見知りになることで、非行防止につながると思う。
(議長)	ほかに御意見・御質問はございませんか。
(委員)	質問なし
(議長)	質問や意見がないようなので、以上で審議を終わります。 これをもって、事業報告の承認をいただいたということでよろしいでし

(事務局)	ようか。 【承認】 続きまして、(2) その他の項目の説明を事務局からお願いします。
(議 長)	(2) その他 「青少年の動向に関するモニター集計表」について
(委 員)	(2) その他に関して御質問・御意見はございませんか。
(議 長)	質問なし
(事務局)	以上で審議を終わります。 (事務連絡：運営委員の任期と選出について) 以上をもちまして、令和2年度第2回さぬき市少年育成センター運営委員会を終わります。